

2024年度 環境経営レポート

(対象期間： 2024 年6月1日 ～ 2025 年5月31日)



エコアクション21

®環境省

認証番号0011690



株式会社

野生鳥獣対策連携センター

発行日： 2025（令和7）年9月1日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
環境経営目標及びその実績（環境経営目標）	4
環境経営目標及びその実績（環境経営目標の実績）	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社野生鳥獣対策連携センターは、豊かで楽しい自然の暮らしを創り、支えるため、野生鳥獣対策に関する事業に取り組んでおります。また、自然環境への影響も懸念されている野生鳥獣問題の解決を目指し、行政・住民・狩猟者への支援を行い、社会へ貢献することを目指す中で、環境保全・循環型社会の実現が重要であることを認識し、環境負荷の継続的な低減を目指すため、以下の活動に取り組めます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1 . 事業活動に適用される環境法規制等を遵守します。
- 2 . 電気・燃料使用にかかる、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 廃棄物の分別・削減に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 薬品の適切な使用・管理に努めます。
- 6 . 業務を増やし、豊かで楽しい自然の暮らしの創造に努めます。
- 7 . この環境経営方針は全ての従業員に周知します。

制定日：平成28年3月10日

改定日：平成30年6月1日

株式会社野生鳥獣対策連携センター

代表取締役

坂田 宏志

□組織の概要 (2025年9月時点)

(1) 名称及び代表者名

株式会社野生鳥獣対策連携センター 代表取締役 坂田 宏志

(2) 所在地

本 社 〒669-3811 兵庫県丹波市青垣町佐治120番地1 (2025年8月移転)
岡山支社 〒709-0721 岡山県赤磐市桜ヶ丘東3丁目3-247
高松事務所 〒761-8082 香川県高松市鹿角町字城ノ内320-20
九州事務所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神二丁目3番10号 天神パインクレスト719号室
北陸事務所 〒923-0304 石川県小松市下粟津町サ64-10 (2027年度中に拡大予定)

指定管理施設 (2026年度中に拡大予定)

兵庫県立総合射撃場 〒673-1113 兵庫県三木市吉川町福井523番地6

※兵庫県の同施設設置管理条例、同施設管理規則、及び同施設管理協定等の定めに従い、環境に配慮した施設管理を行う。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務課長 上坂 ゆみ子
担当者 総務課 古田 奈緒子
電話/FAX 0795-78-9799/0795-78-9769
メールアドレス furuta@cho-jyu.jp

(4) 事業内容

野生動物の被害対策や捕獲に関する実態調査、技術指導、現場対応、各種マニュアル・技術プログラム作成、
個体数推定・将来予測、各種計画の策定、事業効果検証、射撃場の管理及び運営事業など

(5) 事業の規模 (2024年度 エコアクション21 認証・登録範囲)

売上高 513 百万円

	本 社	岡山支社	高松事務所	九州事務所	合計
従業員	16 名	7 名	4 名	1 名	28 名
延べ床面積	233.00 m ² (旧社屋)	145.05 m ²	97.38 m ²	0.00 m ² (バーチャルオフィス)	475.43 m ²

(6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

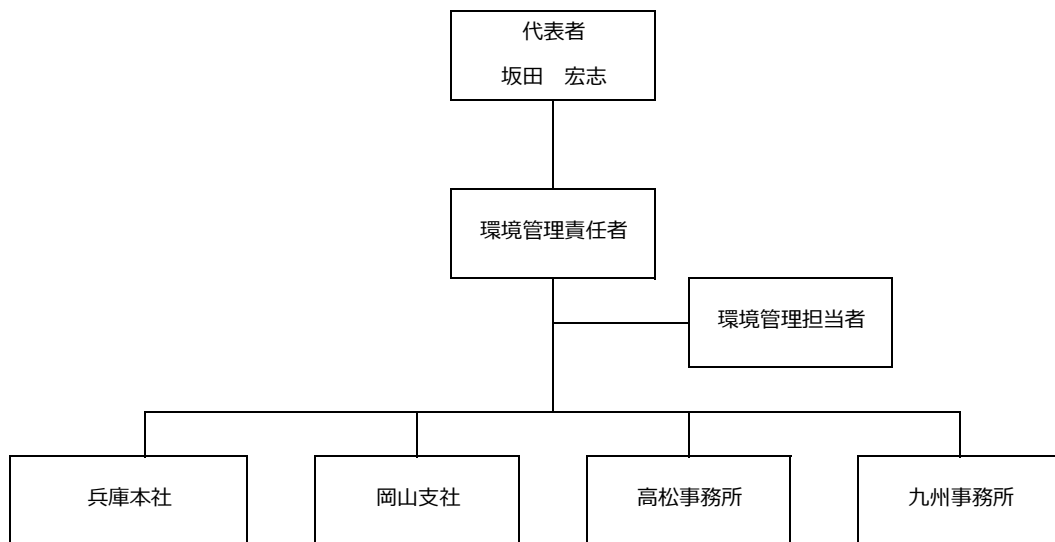
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社野生鳥獣対策連携センター

対象事業所: 本 社 〒669-3811 兵庫県丹波市青垣町佐治120番地1
岡山支社 〒709-0721 岡山県赤磐市桜ヶ丘東3丁目3-247
高松事務所 〒761-8082 香川県高松市鹿角町字城ノ内320-20

活動: 野生動物の被害対策や捕獲に関する実態調査、技術指導、現場対応、各種マニュアル・
技術プログラム作成、個体数推定・将来予測、各種計画の策定、事業効果検証

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営の統括責任者 ・経営資源（人員・設備・費用）の準備 ・環境方針の策定 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理の責任者 ・環境目標・環境活動計画の承認 ・環境活動の管理状況（実施状況と結果）を代表者へ報告 ・全社員への周知、教育と訓練 ・環境活動レポートの作成責任者
環境管理担当者	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成 ・教育及び訓練実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境活動のデータ収集と実績まとめ ・環境関連法規等取りまとめと遵守状況のチェック ・環境管理文書・記録の作成と保管 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

○環境経営目標

2023年度売上高： 327 百万円

2024年度売上予測： 443 百万円

番号	項目	実績（基準） 2023年度	環境目標		
			2024年度	2025年度	2026年度
1	二酸化炭素排出量の削減 ^{※1} kg-CO2	25,466.8	前年度実績+31.6% 33,514.3	前年度目標+0.1% 33,547.8	前年度目標+0.1% 33,547.8
1-1	電力使用量の削減 使用量（kWh） 原単位＝ （電力使用量/売上高）kWh/百万円	20,295.0 62.064	前年度実績+31.6% 26,708.2 60.289	前年度目標+0.1% 26,734.9 60.289	前年度目標+0.1% 26,761.7 60.289
1-2	LPG使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （LPG使用量/売上高）kg/百万円	16.15 0.049	前年度実績+31.6% 21.25 0.048	前年度目標+0.1% 21.27 0.048	前年度目標+0.1% 21.29 0.048
1-3	ガソリン使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （ガソリン使用量/売上高）L/百万円	25,331.1 77.465	前年度実績+31.6% 33,335.7 75.250	前年度目標+0.1% 33,369.0 75.250	前年度目標+0.1% 33,402.4 75.250
1-4	灯油使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （灯油使用量/売上高）L/百万円	365.5 1.118	前年度実績+31.6% 481.0 1.086	前年度目標+0.1% 481.5 1.086	前年度目標+0.1% 482.0 1.086
2	一般廃棄物排出量の削減 廃棄量（kg） 原単位＝ （廃棄量/売上高）kg/百万円	1,260.8 3.856	前年度実績+31.6% 1,659.3 3.746	前年度目標+0.1% 1,660.9 3.746	前年度目標+0.1% 1,662.6 3.746
3	水道水使用量の削減 使用量（m ³ ） 原単位＝ （水道水使用量/売上高）m ³ /百万円	133.0 0.407	前年度実績+31.6% 175.0 0.395	前年度目標+0.1% 175.2 0.395	前年度目標+0.1% 175.4 0.395
4	コピー用紙使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （用紙使用量/売上高）kg/百万円	454.1 1.389	前年度実績+31.6% 597.6 1.349	前年度目標+0.1% 598.2 1.349	前年度目標+0.1% 598.8 1.349
5	サービスに関する項目 （受託業務件数） 件数	75	前年度実績+31.6% 99	前年度目標+0.1% 99	前年度目標+0.1% 99
6	薬品の適切な使用、管理 （麻酔銃用の麻酔）	適切に使用し、管理を徹底する			

※1 二酸化炭素排出係数 0.419 kg-CO2/kWh 関西電力の調整後の係数(2023年度実績)

弊社では、拠点ごとの実績を比較可能とするため、岡山支社、高松事務所も兵庫本社と同じ関西電力の係数を使用しています。

※2 化学物質は使用していません。

※3 売上計画を基に目標値を設定。

○環境経営目標の実績

2023年度売上高： 327 百万円

2024年度売上予測： 443 百万円

番号	項目	単位	2023年度 実績（基準）	2024年度			
				目 標	実 績	基準年度比	判定
1	二酸化炭素排出量の削減 ^{※1} kg-CO2	kg-CO2	25,466.8	前年度実績+31.6% 33,514.3	25,216.8	99.0%	○
1-1	電力使用量の削減 使用量（kWh） 原単位＝ （電力使用量/売上高）kWh/百万円	kWh kWh/百万円	20,295.0 62.0642	前年度実績+31.6% 26,708.2 60.2894	18,031.0 35.1481	88.8% 56.6%	○ ○
1-2	LPG使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （LPG使用量/売上高）kg/百万円	kg kg/百万円	16.1 0.049	前年度実績+31.6% 21.2 0.048	37.9 0.074	234.6% 149.6%	× ×
1-3	ガソリン使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （ガソリン使用量/売上高）L/百万円	L L/百万円	25,331.1 77.465	前年度実績+31.6% 33,335.7 75.250	26,463.3 51.585	104.5% 66.6%	○ ○
1-4	灯油使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （灯油使用量/売上高）L/百万円	L L/百万円	365.5 1.118	前年度実績+31.6% 481.0 1.086	351.1 0.684	96.0% 61.2%	○ ○
2	一般廃棄物排出量の削減 廃棄量（kg） 原単位＝ （廃棄量/売上高）kg/百万円	kg kg/百万円	1,260.8 3.856	前年度実績+31.6% 1,659.3 3.746	1,213.1 2.365	96.2% 61.3%	○ ○
3	水道水使用量の削減 使用量（m ³ ） 原単位＝ （水道水使用量/売上高）m ³ /百万円	m ³ m ³ /百万円	133.0 0.407	前年度実績+31.6% 175.0 0.395	159.0 0.310	119.5% 76.2%	○ ○
4	コピー用紙使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （使用量/売上高）kg/百万円	kg kg/百万円	454.1 1.389	前年度実績+31.6% 597.6 1.349	431.3 0.841	95.0% 60.5%	○ ○
5	サービスに関する項目 （受託業務件数） 件数	件	75	前年度実績よりも増加	103	137%	○
6	薬品の適切な使用、管理 （麻酔銃用の麻酔）	－	適切に使用し、管理を徹底する	適切に使用し、 管理を徹底した	－	－	○

※1 二酸化炭素排出係数 0.419 kg-CO2/kWh 関西電力の調整後の係数(2023年度実績)

弊社では、拠点ごとの実績を比較可能とするため、岡山支社、高松事務所も兵庫本社と同じ関西電力の係数を使用しています。

※2 化学物質は使用していません。

※3 売上計画を基に目標値を設定。

□環境経営計画の取組結果とその評価

活動評価：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

項目	取組み計画	活動評価	取組み結果とその評価
二酸化炭素排出量の削減	(以下のとおり)	○	削減のための取組みを行い、数値目標を達成することができた。 取組み内容については、以下のとおり。
電力使用量の削減	・ 不要な電灯は消灯する。	○	前年度と比較して全体の使用量は削減しており、設定していた目標も達成できた。不要照明の消灯や空調の適正利用が削減効果につながったと考えられる。今後も、適切な管理していく。
	・ エアコンは適切利用を行う。	○	
	・ 夜間、休日は機器主電源を切る。	○	
LPG使用量の削減	・ 冬季以外のガス給湯器の使用を控える。	○	前年度に比べて使用量が大幅に増加し、目標を達成することができなかった。 宿泊者がいたことにより使用量が増加したと考えられるが、事前は無駄遣いをしないよう周知していた。事業の状況によって使用量の増減は避けられない面もあるため、引き続き、無駄のない利用に努める。
	・ 温水温度の適正化	○	
ガソリン使用量の削減	・ エコドライブを励行する。	○	前年度と比較して使用量は増加したものの、設定していた目標は達成できた。事業の受託件数や内容に応じて車の利用が増えたことが、ガソリン使用量の増加につながったと考えられる。車の利用を減らすことは難しいため、引き続き、エコドライブを徹底し、適切に使用していく。
	・ 公共交通機関の利用に努める。	○	
灯油使用量の削減	・ ストープの適切利用を行う。	○	前年度と比較して全体の使用量は削減しており、設定していた目標も達成できた。今後も気温の変動によって使用量が増減する可能性があるため、引き続き、適切な使用を心がける。

項目	取組み計画	評価	取組み結果とその評価
一般廃棄物排出量の削減	・分別回収を徹底する。	○	前年度に比べて廃棄量が減少し、設定していた目標も達成できた。分別の徹底とリサイクルの推進が削減につながったと考えられるため、今後も引き続き廃棄量の削減に努めていく。
	・発生したゴミは出来るだけ圧縮する。	○	
	・トナーカートリッジのリサイクルを図る。	○	
水道水使用量の削減	・節水を励行する。	○	前年度と比較して使用量は増加したものの、設定していた目標は達成できた。宿泊者の利用や、昨年は実施していなかった自主研修の実施により、水の使用量が増加したと考えられる。今後も節水対策を行いながら、適切な使用を続けていく。
	・節水を励行する呼びかける張り紙をする。	○	
	・節水栓、節水コマ等を取り付ける。	○	
コピー用紙使用量の削減	・会議資料や事務手続き書類の簡素化。	○	前年度と比較して使用量は減少し、設定していた目標も達成できた。受託件数の増加により紙の使用量が一部増えたものの、電子化の進展により全体としては削減傾向にある。今後も適切な使用を心がけていく。
	・文書の電子データ化に努める。	○	
サービスに関する項目 (受託業務件数)	・シェア拡大	○	前年度に比べ、受託業務件数は増加した。来年度も、受託増加を目指していく。
	・稼働率向上	○	
	・顧客クレーム削減	○	
薬品の適切な使用、管理 (麻酔銃用の麻酔)	・薬品の管理を徹底する	○	薬品は適切に管理・保管出来ている。引き続き適正な管理を行う。
	・使用の際には、適切な使用をする	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	本社	岡山	高松
環境基本法	環境の保全に関する基本理念や事業所の責務を定め、基本事項の遵守	○	○	○
フロン排出抑制法	特定製品（業務用エアコン、冷蔵庫等）の整備・維持保全、簡易点検	○	○	○
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査の実施	○	-	○
下水道法	公共下水道への排水	-	○	-
リサイクル法	パソコンのリサイクル化	○	○	○
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬、処分業者との適正な契約、マニフェストの管理	○	○	○
家電リサイクル法	TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの適正処理	○	○	○
丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例	丹波市内における廃棄物の適正処理、減量化及び再利用	○	-	-
赤磐市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	赤磐市内における廃棄物の適正処理、減量化及び再利用	-	○	-
高松市廃棄物の適正処理及び再生利用の促進に関する条例	高松市内における廃棄物の適正処理、減量化及び再利用	-	-	○
自然公園法	生物多様性の確保・保護	○	○	○
鳥獣保護管理法	鳥獣の保護及び管理、猟具の適正使用、生物多様性の確保、安全管理講習及び技能知識講習、鳥獣捕獲等事業の認定	○	○	○
外来生物法	特定外来生物等の防除・駆除	○	○	○
銃砲刀剣類所持等取締法	麻醉銃の保管及び記録	○	○	-
医薬品医療機器法	毒薬又は劇薬の貯蔵・陳列	○	○	-
麻薬及び向精神薬取締法	麻薬研究者の届出、麻薬及び向精神薬の管理	-	○	-
消防法	消防用設備等の設置及び維持	○	○	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

環境上の苦情等はありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の取り組みは、今年で10年という節目を迎えた。

弊社では、業務受託件数の増減に伴い資源使用量にも変動が生じるものの、社員一人ひとりの環境負荷削減への意識が定着し、2024年度は多くの項目で目標を達成することができた。

特に、電力・廃棄物・紙使用量の削減においては取り組みの成果が見られた点は高く評価できる。

一方で、LPG（ガス）使用量については大幅な増加がみられた。事業内容により、支社や事務所への宿泊者が発生するため、一定の増減は避けがたいものと考えられる。

また、ガソリン使用量は業務内容に左右されやすく、さらに社有車の増加により今後も増加が見込まれるため、引き続き適正な管理と効率的な運用が求められる。

今後も、社員一人ひとりが環境意識を持ち続け、事業活動と環境配慮の両立を図りながら、継続的な改善に取り組んでいく。

2025年9月1日 坂田 宏志

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり